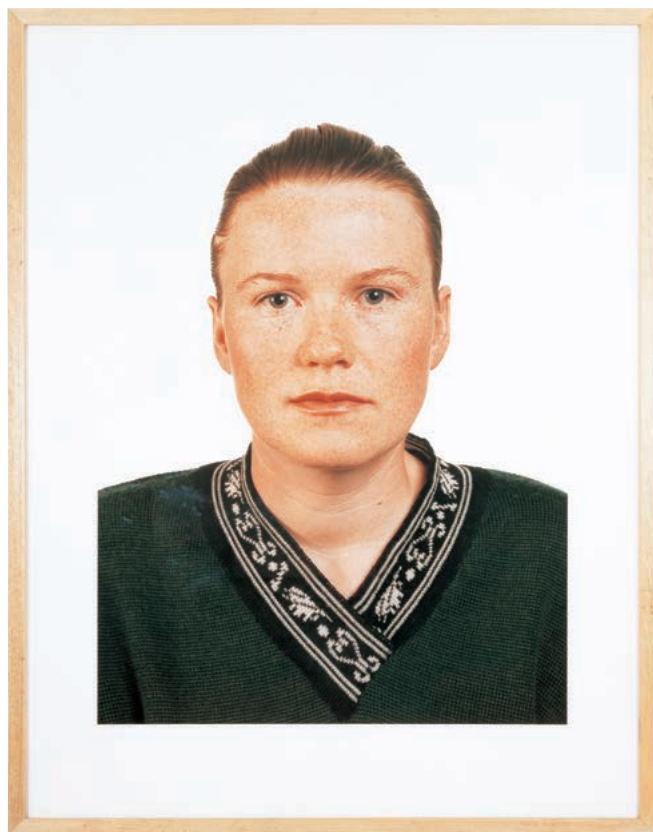


ART MUSEUM IN SUMMER VACATION



なつやすみの 美術館

「みること」「うつすこと」

2011.7.2[sat]—8.28[sun]

開館時間／9時30分—17時(入場は16時30分まで)

休館日／月曜日 ただし7月18日[月・祝]は開館し、19日閉館

観覧料／一般500(400)円、大学生300(250)円

()内は20名以上の団体料金

*高校生以下、65歳以上、障害者の方、

県内に在学中の外国人留学生(外国人就学生も含む)は無料

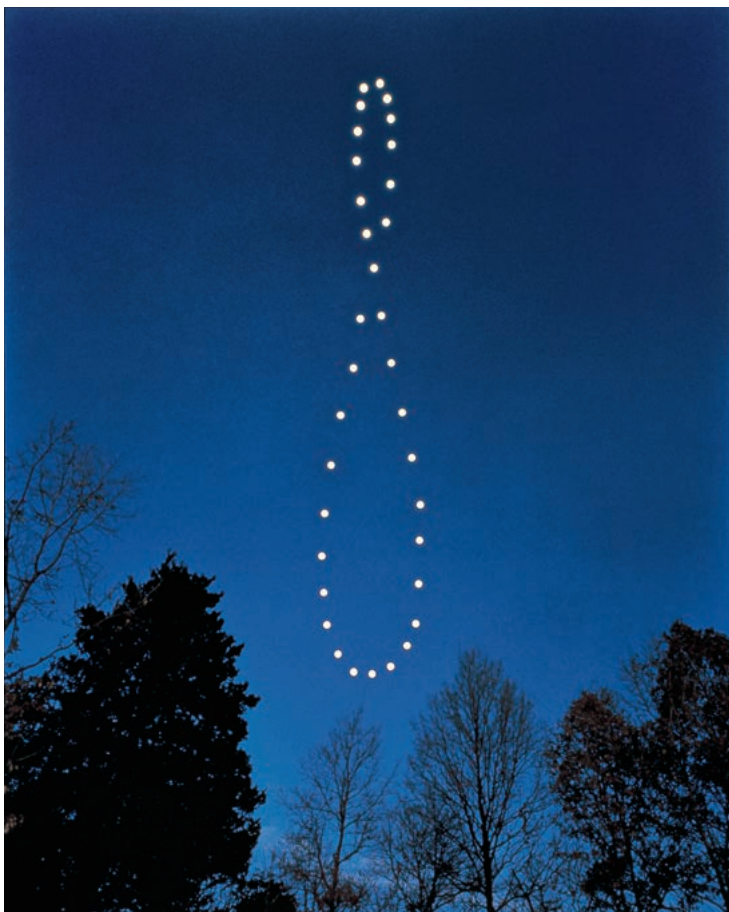
和歌山県立近代美術館 

THE MUSEUM OF MODERN ART, WAKAYAMA



名和晃平 (PixCell [Cameron]) 2003年 ミクストメディア

ART MUSEUM IN SUMMER VACATION



野村仁 (正午のアナレンマ) 1990年 写真

この夏休みを美術館で過ごしませんか？

和歌山県立近代美術館では、現代美術についての理解を深めるため、コレクションを中心とした作品を、多角的な視点からテーマを設けて紹介しています。今回は、「みること」「うつすこと」をテーマに、美術の持つひとつの側面に光をあてます。

写すメディアである「写真」。19世紀に発明されたこの技術は、見える世界を描かずに写し取ることを可能にしました。より現実に近い記録としてイメージを残すことが可能になったのですが、その一方で、「写真」という新しい現実の出現は、逆に「みる」という体験についての再考を促すことにもなりました。現実の似姿のように見えるけれども、現実とは異なる世界。写真に写された世界は、この世界に対する批評となり、リアルとはなにか?と問いかけます。写真の出現によって、従来の写すメディアであった絵画のあり方も大きく変化し、見るために必要不可欠な「光」、あるいは記録される「時間」や「記憶」といった問題もより意識されるようになりました。映像表現の進化と私たちの知覚の変化は無縁ではありません。

また、原版を転写することで制作される「版画」も、写すことによってしか得られないイメージを生成する美術表現です。原版とその写しの間を生じる差異やズレこそは、版画の本質ともいえるものですが、この「うつす」という行為そのものを問うような作品も生まれています。

この展覧会では、「写真」や「版画」など、「うつす」メディアを用いた現代美術の作品を中心に紹介し、「みること」と「うつすこと」をめぐる不思議について、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。



鳴剛 (無題F) 1982年 アクリル、キャンバス

関連事業

- ワークショップ「もつと光を2」 8月20日[土]、21日[日]
講師：佐藤時啓(東京藝術大学教授)
*詳細な内容や、応募方法については決まり次第、当館ホームページ等にてお知らせします。お問い合わせください。
- 主催：NPO和歌山芸術文化支援協会 協力：和歌山県立近代美術館
- フロアレクチャー(学芸員の展示解説)
7月10日[日]、7月18日[月・祝] 14時から、2階展示室にて(要観覧券)
- こどもギャラリートーク(子どもを対象としたトーク。親子でも参加できます。)
7月30日[土]、8月7日[日]、8月13日[土] 14時から、2階展示室にて(要観覧券)

同時開催

- コレクション展2011-夏 6月28日-9月4日
- 生誕120年記念 特集 恩地孝四郎・藤森静雄 6月28日-9月4日

次回展覧会

- 生誕100年 高井貞二展 9月3日-10月16日

県立博物館

- 葛城修験の聖地・中津川行者堂の文化財 6月11日-7月18日
- (とりの)展覧会 和歌山城と城下町に住む人々 7月23日-9月4日
- *詳しくは同館 (tel.073-436-8670 fax.073-423-2467)まで

〒640-8137
和歌山市吹上1-4-14
[和歌山城むかい]
tel.073-436-8690
fax.073-436-1337
<http://www.momaw.jp/>
交通：
JR和歌山駅または
南海電鉄和歌山市駅から
バスで約10分「県庁前」下車、
徒歩2分
駐車場：
1時間まで200円、
以降30分ごとに100円

和歌山県立近代美術館
THE MUSEUM OF MODERN ART, WAKAYAMA

